

# 令和 8 年度 栃木県高体連バドミントン専門部総会

日 時 令和 8 年 4 月 18 日 (土)

会 場 日環アリーナ栃木大会議室

## 総会次第

- 1 開 会
- 2 挨拶 栃木県高体連バドミントン専門部部長  
小山西高校校長 遠井 努
- 3 議 事 (1) 令和 7 年度行事報告  
(2) 令和 7 年度決算報告・監査報告  
(3) 令和 8 年度行事計画案  
(4) 令和 8 年度予算案  
(5) 各地区専門委員の変更について  
(6) 質疑応答
- 4 連 絡 (1) 大会要項等のダウンロードについて  
(2) シード規程・出場規程について  
(3) 大会参加の注意について  
(4) 選手登録について  
(5) 合同チームでの参加について (書式は栃高体連HP)  
(6) 部活動指導員の大会引率について (書式は栃高体連HP)  
(7) 全国高体連バドミントン専門部運営負担金の徴収について  
(8) 危機管理対策について  
(9) 体罰根絶に向けた取り組みの再確認について  
(10) 生徒の転入学に伴う大会参加について  
(11) 留学生の大会参加について  
(12) その他
- 5 閉 会

令和7年度栃高体連バドミントン専門部決算書

収入項目		予算	決算	前年比	備考	
1	各種事業	県 総 体	750,000	743,000	6,000	
		インターハイ予選	1,500,000	1,699,000	399,000	
		学 年 別 大 会	1,500,000	3,321,000	88,500	
		新 人 戦	3,000,000	1,595,200	301,200	
		強 化 練 習 会	500,000	390,000	32,000	高体連強化費、中高大連携事業費含む
2	前 年 度 繰 越 金	445,226	445,226	-108,219		
3	Tシャツ等販売還元金	150,000	225,200	76,400	563枚	
4	個 人 登 録	2,850,000	2,922,000	1,002,000	1948人×1500 県協会強化費含む	
5	県 協 会 強 化 費	500,000	500,000	0		
6	全国高体連運営負担金	90,000	85,000	1,000	85校×1000	
7	利 息	0	2,108	1,431		
8	そ の 他	0	73	0	高体連事務局用通帳利息	
合 計		11,285,226	11,927,807	2,429,980		

支出項目		予算	決算	前年比	備考	
1	各種事業	県 総 体	750,000	742,240	218,640	
		インターハイ予選	1,500,000	1,930,214	472,114	
		学 年 別 大 会	1,500,000	2,196,919	69,216	
		新 人 戦	2,500,000	1,803,821	361,909	
		強 化 練 習 会	500,000	773,403	13,997	
2	県 専 門 委 員 部 会 会 議 費	20,000	0	0		
3	関 東 大 会 分 担 金	20,000	40,000	20,000		
4	関 東 大 会 会 議 費	10,000	10,000	0		
5	関 東 大 会 役 員 ・ 審 判 補 助	50,000	80,254	-4,196		
6	全 国 大 会 分 担 金	30,550	30,550	0	振込手数料含む	
7	全 国 高 体 連 バド 専 門 部 海 外 派 遣 基 金	5,000	0	0		
8	全 国 大 会 役 員 ・ 審 判 補 助	200,000	93,528	-109,059		
9	関 東 選 抜 大 会 会 議 費	10,000	10,000	0		
10	関 東 選 抜 大 会 役 員 ・ 審 判 補 助	50,000	87,370	2,920		
11	全 日 本 ジュニア強化費	100,000	40,000	-20,000	全日本ジュニア 40000	
12	関 東 ・ 全 国 大 会 強 化 費	500,000	500,000	-495	関東大会24万円 IH26万円 手数料含む 県協会強化費から支出	
13	関 東 ・ 全 国 選 抜 強 化 費	200,000	214,910	214,910	関東・全国選抜出場校振込手数料込	
12	強 化 遠 征 費	200,000	200,330	-2,170	国スポ強化費(男女各10万円)、振込手数料込	
13	普 及 育 成 費	100,000	23,000	7,000	普及育成キャラバン(会場費、講師謝礼、日当)	
13	慶 弔 費	退 任 ・ 特 別 功 労 賞 祝 等	80,000	0	-110,000	
		供 花	80,000	0	-17,050	
14	雑 費	50,000	39,370	-11,639	事務用品、振込手数料、郵送料	
15	通 信 費	10,000	6,930	0	HP管理費、振込手数料込	
16	個 人 登 録	日 本 バドミントン協会登録	950,000	974,540	32,820	振込・引落手数料含む @250
		栃 木 県 バドミントン協会登録	1,425,000	1,461,000	981,000	振込手数料含む @750
17	全国高体連運営負担金	80,550	85,550	1,000	85校×1000 振込手数料含む	
18	県 協 会 納 入	0	183,878	-216,122	大規模大会準備金に繰り入れ	
19	予 備 費	364,126		0		
合 計		11,285,226	11,527,807	1,844,611		

差 額	金 額	前年比	備考
合 計	400,000	-45,226	

大規模大会準備金 ¥5,372,592 (別通帳)

会計監査報告書

令和8年4月5日(日)宇都宮市南市民活動センターにおいて、栃高体連バドミントン専門部の帳簿・領収書等を監査した結果、相違ないことを認め報告致します。

会計監査 猪瀬祐香(小山北桜高)



## 令和8年度栃高体連バドミントン専門部大会予定(案)

月	日	曜日	開始時間	行事名	会場	種別	備考
4	18	土	9:00	専門部総会	日環アリーナ栃木大会議室		
4	25	土	9:00	県高校総体バドミントン競技	日環アリーナ栃木(メイン)	男女団体	決勝リーグ
4	26	日	9:00	県高校総体バドミントン競技	日環アリーナ栃木(メイン)	男女団体	決定戦
6	1	月	9:00	専門委員会	宇都宮市体育館会議室		
6	11	木	9:00	全国高校総体バドミントン競技県予選会	鹿沼総合体育館	男子団体	ベスト8まで
6	12	金	9:00	全国高校総体バドミントン競技県予選会	県北体育館	女子団体	ベスト8まで
6	15	月	9:00	全国高校総体バドミントン競技県予選会	宇都宮市体育館(メイン)	男女団体	決定戦
6	16	火	9:00	全国高校総体バドミントン競技県予選会	日環アリーナ栃木	男女ダブルス	
6	18	木	9:00	全国高校総体バドミントン競技県予選会	日環アリーナ栃木	男女シングルス	
10	27	火	9:00	専門委員会	清原体育館大会議室		
11	6	金	9:00	県高校新人バドミントン選手権大会	清原体育館	男子団体	ベスト8まで
11	6	金	9:00	県高校新人バドミントン選手権大会	鹿沼総合体育館	女子団体	ベスト8まで
11	10	火	9:00	県高校新人バドミントン選手権大会	鹿沼総合体育館	男女団体	決定戦
11	12	木	9:00	県高校新人バドミントン選手権大会	日環アリーナ栃木	男女ダブルス	
11	13	金	9:00	県高校新人バドミントン選手権大会	日環アリーナ栃木	男女シングルス	
7	2	木	9:00	国民スポーツ大会県選手選考会	日環アリーナ栃木	男女ダブルス	
7	3	金	9:00	国民スポーツ大会県選手選考会	日環アリーナ栃木	男子シングルス	
8	10	月	9:00	全日本ジュニア選手権大会県予選会	県南体育館	男子ダブルス・女子シングルス	
8	12	水	9:00	全日本ジュニア選手権大会県予選会	清原体育館	男子シングルス・女子ダブルス	
8	5	水	9:00	専門委員会	清原体育館大会議室		
8	16	日	9:00	県学年別大会	県南体育館	2年男子ダブルス	ベスト16まで
8	16	日	9:00	県学年別大会	清原体育館~17:00	2年女子シングルス	ベスト16まで
8	17	月	9:00	県学年別大会	県南体育館	1年男子ダブルス	ベスト16まで
8	18	火	9:00	県学年別大会	県南体育館	男子ダブルス	
8	18	火	9:00	県学年別大会	鹿沼総合体育館	1年女子シングルス	ベスト16まで
8	19	水	9:00	県学年別大会	県南体育館	2年男子シングルス左山	ベスト16まで
8	19	水	9:00	県学年別大会	鹿沼総合体育館	女子シングルス	
8	20	木	9:00	県学年別大会	県南体育館	2年男子シングルス右山	ベスト16まで
8	20	木	9:00	県学年別大会	鹿沼総合体育館	1年男子シングルス左山	ベスト16まで
8	21	金	9:00	県学年別大会	県南体育館	1年女子ダブルス	
8	21	金	9:00	県学年別大会	鹿沼総合体育館	1年男子シングルス右山	ベスト16まで
8	24	月	9:00	県学年別大会	日環アリーナ栃木	男子シングルス	
8	24	月	9:00	県学年別大会	日環アリーナ栃木	2年女子ダブルス	1年女子予備日

**【確認事項】**

関東高校バドミントン大会	東京都	調布市	6/5~ 6/7
全国高校バドミントン大会	和歌山県	和歌山市	7/22~ 7/27
関東選抜高校バドミントン大会	栃木県	宇都宮市	12/18~12/20
全国選抜高校バドミントン大会	三重県	四日市市、津市	3/25~ 3/28

審判講習会	7/12(日)・27(月)・8/1(土)2(日)	國學院栃木高・県北体育館・雀宮体育館
強化研修大会	12/12(土)13(日)	宇都宮白楊高/宇都宮南高 (出場資格:新人戦個人ベスト8)
北部支部	4/27(月)28(火) 8/1(土)2(日)4(火) 12/21(月)22(火)	北部春季大会 北部支部総体 北部新人大会
中部支部	1/19(火)21(木)22(金)24(日)25(月)	9/下旬 未定
南部支部	7/28(火)29(水) 1/23(土)25(月)26(火)27(水)	強化練習会 強化練習会 強化練習会
普及育成キャラバン	北部:未定 中部:未定 南部:未定	3/13(土)14(日) 強化練習会

令和8年度栃高体連バドミントン専門部予算(案)

収 入 項 目		金 額	備 考	
1	各種事業	県 総 体	1,000,000	
		インターハイ予選	2,000,000	高体連運営費3大会分¥1293,000含む
		新 人 戦	2,000,000	
		学 年 別	3,000,000	
		強 化 練 習 会	400,000	県協会・県高体連強化費含む
2	前 年 度 繰 越 金	400,000		
3	Tシャツ等販売還元金	150,000		
4	個 人 登 録	2,850,000	1500円×1900名	
5	全国高体連運営負担金	85,000		
6	県 協 会 強 化 費	500,000		
7	利 息	0		
合 計		12,385,000		

1	大規模大会準備金	5,372,592	県協会より
---	----------	-----------	-------

支 出 項 目		金 額	備 考
1	各種事業	県 総 体	1,000,000
		インターハイ予選	2,000,000
		新 人 大 会	2,000,000
		学 年 別	2,500,000
		強 化 練 習 会	400,000
2	専 門 委 員 部 会 会 議 費	20,000	
3	関 東 大 会 分 担 金	40,000	
4	関 東 大 会 会 議 費	10,000	
5	関 東 大 会 役 員 ・ 審 判 補 助	50,000	
6	全 国 大 会 分 担 金	30,550	
7	全 国 高 体 連 ハ ド 専 門 部 海 外 派 遣 基 金	5,000	
8	全 国 大 会 役 員 ・ 審 判 補 助	200,000	
9	関 東 選 抜 大 会 会 議 費	10,000	
10	関 東 選 抜 大 会 役 員 ・ 審 判 補 助	50,000	
11	全 日 本 ジ ュ ニ ア 強 化 費	60,000	
12	関 東 ・ 全 国 強 化 費	500,000	
13	関 東 ・ 全 国 選 抜 強 化 費	200,000	
14	強 化 遠 征 費	200,000	
15	普 及 育 成 費	100,000	
16	慶 弔 費	退 任 ・ 特 別 功 労 賞 祝 等	80,000
		供 花	80,000
17	雑 費	50,000	
18	個 人 登 録	日 本 バ ド ミ ン ト ン 協 会 登 録	950,000
		栃 木 県 バ ド ミ ン ト ン 協 会 登 録	1,425,000
19	全 国 高 体 連 運 営 負 担 金	85,000	
20	予 備 費	339,450	
合 計		12,385,000	

## 専門部役員名簿【令和7年度／令和8年度】

専門部名	バドミントン専門部
------	-----------

年度 役職名		令和7年度（前年度）		令和8年度		
		氏名	所属名	氏名	所属名	
専門部長		大岡寿子	今市	遠井努	小山西	
委員長		千坂篤史	今市	千坂篤史	今市	
委員	中部	稲村龍治	真岡女子			
		千葉哲也	宇都宮女子	千葉哲也	石橋	
		平泉愛美	宇都宮北			
		大堀 新	宇都宮南	大堀 新	宇都宮南	
		福井啓仁	宇都宮白楊	福井啓仁	宇都宮白楊	
		寺田真也	鹿沼商工	寺田真也	益子芳星	
		新 宗樹	作新学院	新 宗樹	作新学院	
		堀野 沙也香	真岡工業	堀野 沙也香	真岡工業	
	南部	猪瀬祐香	小山北桜	猪瀬祐香	小山北桜	
		長平佳史	栃木	長平佳史	栃木	
		桑川明史	壬生	桑川明史	壬生	
		伊原政成	佐野東	伊原政成	佐野東	
		菅原健太	小城南	菅原健太	小城南	
	北部	高橋淳史	那須拓陽	高橋淳史	那須拓陽	
		齋藤哲也	那須清峰	齋藤哲也	那須清峰	
		大沼莉生	大田原	大沼莉生	大田原	
		田中勇氣	黒羽	田中勇氣	黒羽	
		小花智志	黒磯	小花智志	黒磯	
	普及強化委員		大堀 新	宇都宮南	大堀 新	宇都宮南
	危機管理委員		福井啓仁	宇都宮白楊	菅原健太	小城南
調査研究委員						
ホームページ担当者		千坂篤史	今市	千坂篤史	今市	

下記大会・講習会・申請案内等要項のダウンロードのお願い

コスト削減の一環としてペーパーレス化を図りたいと思います。

下記の大会要項等について、

「栃木県高等学校体育連盟バドミントン部」HP(<https://tochigi-badminton.com/>)よりダウンロードをお願いします。

対象大会・講習会・案内名称		掲載目安日
①.	全国高校総体バドミントン競技県予選会	5月 10日 前後
②.	公認審判員資格検定会・講習会	6月 1日 前後
3.	国民スポーツ大会バドミントン競技県選考会	6月 1日 前後
4	全日本ジュニア選手権大会県予選会	7月 10日 前後
⑤.	県高校学年別バドミントン大会	7月 1日 前後
6	3級審判員資格特別移行申請について	7月 1日 前後
⑦.	県高校新人バドミントン大会	10月 1日 前後
8	強化練習会(新人大会個人ベスト8対象)	11月 15日 前後

○のついた大会等については、申込の確認ができないときには、その旨、連絡をします。  
不参加の場合、その旨記入の上、期日までに申込をお願いします。

## 全国高校総体栃木県予選会における別枠出場について（提案）

令和 8 年 4 月

### 【現行制度】

- ・前年度当該大会 8 強
- ・前年度新人大会 8 強
- ・各支部大会枠

※ダブルスの出場枠を有する選手同士の組替えを認める。

### 【令和 7 年度より上記※を採用した経緯】

インターハイ予選でペア変更をするために支部枠で別枠出場を得ようと新人戦ベスト 8 以上の選手が支部大会へ出場するケースが増加していた。支部大会の出場枠を有効に活用できるようにする観点から、出場枠をもつ選手同士のペア変更を認めることとした。

### 【提案】

新 1 年生で中学時に個人戦で関東（ブロック）中学出場経験、JOC 出場経験のある選手について、当該種目に限り別枠出場を認めることを提案する。

### 【理由】

近年、ジュニア世代の競技力が向上し、高校生と遜色ないレベルの選手が増えている。また、優秀な選手の進学先が多様化し、学年をまたいだペア編成も一般的になっている。その結果、学校枠やチーム事情により、本来出場可能な選手が出場できなかつたり、ベストなペアでの出場を断念せざるを得なかつたりする状況が生じている。

上位大会には最も競技力の高い選手が出場するべきとの考えにもとづき、新 1 年生の優秀な選手に別枠出場の機会を設けることで、これらの課題解消につながると考える。また、全国で活躍する選手の選出にも寄与し、予選会自体のレベル向上、さらには県内競技力の底上げにも資する。

なお、運用上の公平性を保つため、ダブルスのみならずシングルスについても同様の扱いとしたい。

栃木県高体連バドミントン専門部  
委員長 千坂 篤史

# 高体連主催バドミントン大会シード規定・出場権

## 高校総体兼関東大会予選（5位決定戦を行う。）

- 団体
- 協議
  - 前年度新人大会4強
  - 前年度新人大会8強（シード枠内フリー抽選）
  - 協議（9～12のシード枠より協議の上、抽選）
    - ①シードを希望するチーム、または専門部推薦チームは推薦理由書（本専門部所定）を期日までに提出する。
    - ②専門委員においてこれらのチームが適正かどうか協議・投票する。

出場枠

## 全国高校総体県予選（個人戦は3位決定戦を行う。）

- 団体
- 協議
  - 関東予選4強
  - 関東予選8強（7・8シード枠内フリー抽選）
  - 協議（上位のシード枠より協議の上、抽選）
    - ①シードを希望するチーム、または専門部推薦チームは推薦理由書（本専門部所定）を期日までに提出する。
    - ②専門委員においてこれらのチームが適正かどうか協議・投票する。

- 個人
- 協議（推薦基準、該当大会の組替の対応）
  - 前年度当該大会1・2位
  - 新人大会4強
  - 協議（上位のシード枠より協議の上、抽選）
    - ・上記シードから漏れた選手
    - ・中学校の実績を特に有する選手
    - ・その他、シードを希望する選手、または専門部推薦選手は推薦理由書（本専門部所定）を期日までに提出し協議する。

\*シングルスにおいてベスト4まではダブルスのパートナーであっても左右に分けない。

## 新人大会（団体・個人戦共に3位決定戦を行う。）

- 団体
- 協議
  - ポイント計算による、ポイント合計の多い順にシードとする。（\*同点の場合は協議）
    - ①ジュニア予選会、単・複共にベスト4以上の学校に与える。  
1位=8 2位=7 3位=5,5 ベスト8=2,5 ベスト16=1,25
    - ②学年別大会、単・複共にベスト16以上の学校に与える。
  - ①シードを希望するチーム、または専門部推薦チームは推薦理由書（本専門部所定）を期日までに提出する。  
②専門委員においてこれらのチームが適正かどうか協議・投票する。

- 個人
- 協議（推薦基準、該当大会の組替の対応）
  - 前年度当該大会1・2位
  - ジュニア予選会4強
  - 全国総体県予選ベスト8
  - 学年別大会2年4強
  - 協議（上位のシード枠より協議の上、抽選）
    - ①学年別大会2年ベスト4の組み替えについて
    - ②学年別大会2年8強
    - ③学年別大会2年ベスト8の組み替えについて
    - ④上記シードから漏れた選手
    - ⑤学年別大会1年4強
    - ⑥その他、専門部推薦または、シードを希望する選手は推薦理由書（本専門部所定）を期日までに提出し協議する。

\*シングルスにおいてダブルスのパートナーは左右に分ける。

- \*備考
- ・審議を要する事態が発生した場合は、専門委員会議をもって決定する。
  - ・専門部推薦やシード権は辞退することはできない。
  - ・個人戦（複）のシード権は原則として同ペアとする。
  - ・同一校より複数の参加がある場合は、できうる限り等分に分けるものとする。
  - ・シングルスにおいては、ダブルスのパートナーは原則として等分に分けるものとする。
  - ・3位決定戦を行っても2チームに3位の賞状を出す。
  - ・合同チームの参加は認めるが、勝ち上がれないこととする。
  - ・個人戦における1～4シード下に入る選手は、各チームの2番手とする。

・各校2名／2組  
・前年度当該大会8強  
・前年度新人大会8強  
・新1年で関東中学及びJOC出場者（当該種目に限る）  
※ダブルスの出場枠を有する選手同士の組替えを認める

・各支部大会枠  
  北部1名／1組  
  中部8名／8組  
  南部1名／1組  
（支部枠は毎年協議）  
出場枠は各支部大会の入賞者当該個人に与え、繰り下がりなし

・各校2名／2組  
・前年度当該大会8強  
・高校総体県予選8強  
・学年別大会2年8強  
・学年別大会1年4強  
・ジュニア予選会4強

★その他、高校生が関係する大会のシード規定

国体予選（3位決定戦を行う。）

- 個人
1. 協議
  2. 前年度当該大会1・2位
  3. 全国総体県予選8強
  4. 前年度当該大会8強
  5. 中体連推薦
  6. 全国総体県予選8強（D：当該大会組み替え）
  7. 前年度当該大会8強（D：当該大会組み替え）

\*シングルスにおいてベスト4まではダブルスのパートナーであっても左右に分けない。  
\*16シード内の同一所属は考慮する。

ジュニア予選会（3位決定戦を行う。）

- 個人
1. 協議
  2. 前年度当該大会1・2位
  3. 国体予選8強
  4. 全国総体県予選8強
  5. D:上記3、4の組替
  6. 前年度新人大会8強
  8. 前年度関東中学出場
  9. 中学県大会8強
  10. D:上記5～8の組替

\*シングルスにおいてダブルスのパートナーは左右に分ける。但し、ベスト4まではダブルスのパートナーであっても左右に分けない。

学年別大会

○個人 2年（最大16シードまでを目安）

1. 協議  
各種大会の4強組替について
2. ジュニア予選会4強
3. 全国総体県予選8強
4. 前年度新人大会8強
5. 前年度学年別1年生大会8強
6. 協議  
①D：ジュニア予選会8強組替  
②D：全国総体県予選8強組替  
③D：前年度新人大会8強組替  
④D：前年度当該大会8強組替（2年生大会）  
（1年生大会）  
⑤D：前年度当該大会ベスト16

1年（最大8シードまでを目安）

1. 協議
2. ジュニア予選会4強
3. 代表者会議推薦（中学有望、推薦選手等）

- S：ジュニア予選会ベスト8  
S：全国総体県予選ベスト16  
S：前年度新人大会ベスト16  
S：前年度当該大会ベスト16

\*シングルスにおいてダブルスのパートナーは左右に分ける。

## 栃高体連バド専門部主催大会の参加にあたって

### 栃高体連バドミントン専門部

令和 8 年 4 月

#### 〔競技上の注意〕

○競技は、現行の公益財団法人日本バドミントン協会競技規則及び大会運営規定により行う。

○選手は競技用ウェアの背面中央に学校名及び県名を日本語で必ず明記すること。

- ・高さ6cm～10cm、横30cm以内に、  
学校名を上段に、県名を下段に標示する。
- ・標示文字は、鮮明に映える色とする。
- ・ローマ字等での標示は認めない。
- ・明瞭な文字(楷書体・明朝体またはゴシック体)

(標示例)



\* 本専門部公認Tシャツ(辰柄・2025・2026)を県内大会で競技用ユニホームとして公認する。

→ 辰については、全国総体予選まで。

○団体戦におけるマネージャー・選手の変更は当日の代表者会議まで認めるが、追加は認めない。

個人戦における選手の変更は一切認めない。

※県総体については、新一年生の入部の兼ね合いから、当日の追加を認める。

○大会特別ルールを設ける場合は、その都度、代表者会議において協議・決定する。

- ・ベンチ及びコーチ席設置の有無。
- ・短縮ポイントの適用。
- ・試合が連続する場合の次の試合との間隔(時間)。
- ・試合当日の最終コールの時刻。等々

○監督・コーチは試合にふさわしい服装で臨むこと。

- ・大会運営規程第24条参照
- ・シャツ・ポロシャツ・ブラウス、長ズボンまたはスカートとし、ジーンズやビーチスタイル、パミューダ、ショーツ、スリッパとサンダルは禁止とする。(Tシャツも不可)

○競技エリアでのモバイル機器の使用は禁止する。

#### 〔審判上の注意〕

○高校生が審判(主審・線審)にあたる場合は、原則として「準3級公認審判員資格」を取得している者とする。(本部割当審判・敗者審判等)

○審判にあたる学校は、基本的に1コート4名(主審1・得点係1・線審2)として構成する。(人数調整がつかない学校は本部に連絡する。→本部調整)

原則として準決勝以降からサービスジャッジを置くこととする。

#### 〔その他〕

○会場施設の使用にあたっては、各施設の使用規定を遵守すること。

- ・ゴミは持ち帰ること。
- ・フロアでの給水、観客席での飲食は会場ルールに従うこと。

○大会期間中の貴重品等の管理に十分気をつけること。

○会場への行き帰り時は、交通事故等に十分注意するとともに、高校生としてのマナーを守って行動すること。

○大会が平日開催の場合は、生徒の解散時間には十分配慮すること。

○「栃木県高等学校体育連盟主催の大会参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱い」に関して参加申込書の提出により、上記の取り扱いに関する承諾をしたものとする。

大会参加に際して提供される個人情報は本大会活動に利用するものとし、これ以外の目的に利用することはない。(詳しくは、

「栃木県高等学校体育連盟主催の大会参加における個人情報及び肖像権に関わる取り扱い」を参照すること。)

○「危機管理対策の徹底」に関して

生徒の健康状況を把握するとともに、基本的な感染対策を講じること。

不審者等を見かけた場合には、速やかに本部に報告すること。

令和元年 10 月 15 日

各都道府県高体連バドミントン専門委員長様

公益財団法人全国高等学校体育連盟バドミントン専門部

部長 田部井 秀郎

ウェアに関する表示規定の遵守について（通知）

日頃より、当専門部の活動にご理解とご協力をいただき深く感謝申し上げます。

さて、2010年のルール改正からウェアの背面表示の文字列の大きさは高さ6cm～10cm、と具体的な数値が盛り込まれました。今まで全国高校総体と全国選抜大会（以下、高体連主催大会。）では背面文字列の大きさについては、高体連独自の移行措置として既に購入してしまったウェアについては、やむを得ず許容してきましたが、令和2年度から両大会とも規定に合わないウェアの着用は認めない事で大会を運営いたします。

これは、高体連主催大会では使用できた、条件を満たしていないウェアが、全日本ジュニア大会、全日本総合大会、ジュニアグランプリ大会では着用が認められず、ゼッケン使用や違反する文字列を布で隠す処置がなされるなど、出場選手に不都合が生じているからです。

今回このような、高体連主催大会とその他の日本協会主催大会との競技規則運用上の差異による選手への不都合を解消するため、令和2年3月31日をもって、高体連独自の移行措置を終了し、下記の通りウェアの背面や前面の表示に関して、来年度から競技規則通りに完全実施する旨を、各都道府県内の所属校へ周知をお願いいたします。

なお、高体連主催大会の都道府県予選までは、各々の事情に合わせ、期限を定めて、猶予期間を設けることはこの限りではありません。

記

令和2年4月1日より、全国高校総体・全国高等学校選抜大会で着用するウェア表示に関する規定については競技規則書通りとする。

ただし、ウェア表示に関する全国高体連バドミントン専門部申し合わせ事項については今まで通りとする。（スポンサー表示禁止、ロゴに校章は認める点）

以上

参考までに競技規則の抜粋をお示しします。(平成31年4月改定箇所も含む)

公益財団法人日本バドミントン協会競技規則(大会運営規程第4章第24条)

着衣上の背面、広告、ロゴなどの表示に関する取り決めについては、以下のとおりとする。

(1) ウェア(上衣)の背面には、単一色で3行までの文字列の表示と背番号の表示を認める。なお、3行の文字列と背番号の色は単一色ですべて同色とする

- ① 文字列各行の大きさは、高さ6cm～10cm、横30cm以内とし、各行には、プレーヤー名、チーム名、スポンサー名、都道府県名等を水平表示するものとする。ただしプレーヤー名とチーム名など、異なる項目を同一行に表示することはできない。また、文字列にロゴを含まないものとする。
- ② プレーヤー名、チーム名の表示が高さ6cm～10cm、横30cm以内の範囲に一行で表示できない場合は複数行になっても構わない。ただし、その場合でも表示された複数行の文字列の高さの合計は6cm～10cmとする。
- ③ 背番号を表示する場合は、文字列の下中央部に表示するものとし、大きさは縦1.5cm以内、一桁横7cm以内とし、二桁以内とする。
- ④ 文字列、背番号は明瞭な文字、数字を使用し、文字、数字の色は上衣背面の文字列、背番号表示部分の色と明確に区別できる色とする。

(2) ウェア(上衣)の前面には、複数行の文字列の表示と、前番号の表示を認める。

- ① 複数行の文字列は、高さ10cm、横40cmの範囲内に納まるものとし、チーム名、スポンサー名、広告のいずれかを表示することができる。(文字列にはチーム名、スポンサー名、広告連動したロゴを含めてもよい)
- ② 文字列は装飾文字を使用してもよく、単一色と限定しない。
- ③ 前番号はウェア(上衣)の前面の胸下に背番号と同一番号をつけるものとする。大きさは高さ8cm以内、一桁4cm以内とし、二桁以内とする。

(3) ウェア(上衣)には、右襟、左襟、右袖、左袖(袖のない場合は、右肩前面、左肩前面)、ウェア前面の5ヶ所に3つまで、スポンサーロゴ、チーム名、プレーヤー名を表示することができる。ただし、1ヶ所に表示できるものは1つまでとする。

- ① 1つのロゴの大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。
- ② 上記3つの内の1つは50cm<sup>2</sup>以内でも可とする。(メーカーロゴを除く)
- ③ メーカーロゴはその数に入れない。

(4) ショートパンツ、スカート、ワンピースの前面底部に2つまでのスポンサーロゴ、チーム名、プレーヤー名、背番号と同一番号を表示することができる。

- ① 1つのロゴの大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。
- ② メーカーのロゴはその数に入れない。

(5) 各ソックス(対の一つ)には、2つまでの広告(メーカーのロゴやマークを含む)を表示することができる。大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。プレーヤーが正規のソックスは勿論、圧縮/サポートソックスを着用する場合も各脚/足には合計2つまで広告を表示することができる。(サポーターなどの医療用具のメーカーロゴはその数に入れない)

(6) アンダーウェア(上衣)、リストバンド、バンダナ、サポーターなどの医療用具に1つまでのスポンサーロゴ、チーム名、プレーヤー名、背番号と同じ番号を表示することができる。

① 1つのロゴの大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。

② メーカーのロゴはその数に入れない。

(7) 本会または、8連盟および各都道府県協会主催の大会については、上記(1)～(6)の規程内で各大会独自の表示規定を定めることができる。

(8) プレーヤーは、違法な、中傷的な、本来商業的な、あるいは独断的で政治的または宗教的な意図のある、入れ墨や、ペイント、写し絵、その他それに類似したやり方のものを表に出してはならない。  
(これは着衣にではない)

(8) たばこの会社や製品に関する広告は禁止とする。

## インターハイ・全国選抜大会で着用できるウェアの表示について

(公財)全国高体連バドミントン専門部

2019年度より、(公財)日本バドミントン協会大会運営規程の改訂に伴い、標記大会で着用するウェアの背面・前面等の表示についても、専門部独自の申し合わせ事項を一部改訂しました。  
ウェアに新規プリントをする際は、大会運営規程を基本とし、特に申し合わせ事項について十分ご注意ください。

もし、判断がつかない場合は、作成前に所属する全国高体連バドミントン専門部各ブロック長に確認をとってください。

大会運営規程第24条	全国高体連バドミントン専門部申し合わせ
<p>(1) ウェアの背面には3行までの文字列の表示と背番号の表示を認める。文字列の色は単一色とする。</p> <p>① 文字列の各行の大きさは高さ6～10cm、横30cm以内とし、各行には、プレーヤー名、チーム名、スポンサー名、都道府県名を水平表示するものとする。</p> <p>② 文字列は明瞭な文字を使用し、文字の色は上衣面の文字列表示部分の色と区別できる色とする。</p>	<p>※ 文字列は日本文字を使い2行までで、上段に学校名、下段に都道府県名とする。</p>
<p>(2) ウェアの前面には複数行の文字列を認める。</p> <p>① 文字列の大きさは高さ10cm、横40cm以内とし、チーム名またはスポンサー名のいずれかを表示することができる。(文字列にはチーム名、スポンサー名、広告に連動したロゴを含めてもよい)</p> <p>② 文字列は装飾文字を使用してもよく、単一色と限定しない。</p>	<p>※ 高校生が広告媒体となることはふさわしくないとの理由から、スポンサー名は禁止し、学校名、または学校名の一般的略称に限る。文字列に校章を含めてもよい。</p>
<p>(3) ウェアには右襟、左襟、右袖、左袖(袖のない場合、右肩前面、左肩前面)、ウェア前面の5カ所に3つまで、スポンサーロゴ、チーム名、プレーヤー名を表示することができる。ただし1カ所に表示できるものは1つまでとする。</p> <p>① 1つのロゴの大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。</p> <p>② 上記3つのうち、1つは50cm<sup>2</sup>以内でも可とする。</p>	
<p>(4) ショートパンツ、スカート、ワンピースの前面底部に2つまでのスポンサーロゴ、チーム名、プレーヤー名を表示することができる。</p> <p>① 1つのロゴの大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。</p>	<p>※ スポンサーロゴは禁止とする。</p>
<p>(5) 各ソックス、圧縮・サポートソックス(対の一つ)には2つまでの広告(メーカーロゴやマークを含む)を表示することができる。大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。</p>	<p>※ 校章の表示は認める。</p>
<p>(6) アンダーウェア(上衣)、リストバンド、サポータなどの医療用具に1つまでのスポンサーロゴ、チーム名、プレーヤー名、背番号と同じ番号を表示することができる。</p> <p>① 1つのロゴの大きさは20cm<sup>2</sup>以内とする。</p> <p>② メーカーロゴもその数に入れる。</p>	

令和2年1月10日

平成30年4月9日

加盟団体  
競技審判部会部員  
公認レフェリー  
公認審判員資格審査認定委員 各位

(公財) 日本バドミントン協会  
競技審判部長 山田順一郎

### ヘッド、スロート、シャフトに修理を施した 検定合格ラケットの使用について

平素から本会の競技審判活動の普及発展にご理解とご尽力を賜り誠に有難うございます。

検定合格ラケットのヘッド、スロート、シャフトの破損部分に修理を施したラケットの使用について、平成30年3月17日に開催された公益財団法人日本バドミントン協会競技審判部会で協議がなされ、下記のような見解に至りましたことをご報告いたします。

そもそもラケットの検定合格基準は本会競技規則第4条第1項を基準とすると同時にラケットの品質の向上と安全性も重要な検定合格基準となっております。さらに同条第3項には「ラケットは付着物、突起物があってはならない」とあることから、ヘッド、スロート、シャフトの破損部分に修理を施した検定合格ラケットは安全性と同条第3項に抵触するものであり、第1種大会およびその大会の予選会さらに第2種大会でのマッチ（試合）において検定合格ラケットとして使用することは認められないことになりました。

ただし、第1種大会、第2種大会以外の大会や練習時において使用することは安全性に十分気を付けられることを前提に使用することは認められます。

以上

栃木県高等学校体育連盟主催大会における個人情報  
及び肖像権に関わる取り扱いについて

栃木県高等学校体育連盟

栃木県高等学校体育連盟は、本連盟主催大会への参加申込書等を通じて取得される個人情報及び肖像権の取り扱いに関して以下のとおりに対応します。

1 参加申込書に記載された個人情報の取り扱い

- (1) 大会プログラムに掲載されることがあります。
- (2) 競技会場内でアナウンス等により紹介されることがあります。
- (3) 競技会場内外の掲示板等に掲載されることがあります。

2 競技結果（記録）等の取り扱い

- (1) 本連盟競技種目別専門部の報道・記録係を通じて公開されます。
- (2) 認められた報道機関等により、新聞・雑誌及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (3) 大会プログラム掲載の個人情報とともに、大会報告書に掲載されることがあります。
- (4) 本連盟機関誌「高体連」等に掲載されることがあります。
- (5) 新記録、優勝及び上位入賞結果（記録）等は、次年度以降の大会プログラムに掲載されることがあります。

3 肖像権に関する取り扱い

- (1) 認められた報道機関等が撮影した写真が、新聞・雑誌・報告書及び関連ホームページ等で公開されることがあります。
- (2) 認められた報道機関等が撮影した映像が中継または録画放映されることがあります。また、DVD等に編集され、配布されることがあります。
- (3) 本連盟機関誌「高体連」に写真が掲載されることがあります。
- (4) このほか、栃木県高等学校体育連盟（競技種目別専門部）の許可にもとづき、記念写真等が販売されることがあります。

4 栃木県高等学校体育連盟の対応について

- (1) 取得した個人情報を上記利用目的以外に使用することはありません。
- (2) 参加申込書の提出により、上記の取り扱いに関する承諾をいただいたものとして対応させていただきます。
- (3) 個人情報等の掲載または公開等に関する質問は、栃木県高等学校体育連盟事務局までご連絡ください。

連絡・問い合わせ先 栃木県高等学校体育連盟事務局 028-612-5290
---

令和8年4月2日

学校長 様

公益財団法人全国高等学校体育連盟  
バドミントン専門部  
部長 菊地 亨

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について

日頃より、本専門部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部ではインターハイ開催費補助及び専門部運営費補助の目的で専門部運営負担金の徴収をお願いしております。各都道府県専門部におかれましては、下記の要領で徴収をお願いいたします。

インターハイ開催及び専門部運営には収入源が乏しい中ではありますが多額の経費がかかります。インターハイ開催経費確保や開催地負担の軽減問題及び専門部運営については、運営のスリム化とともに今後も継続して取り組んでいかなければならない問題です。専門部運営負担金については関係者に対してさらなる趣旨説明と適切な運用をしております。今後とも本連盟の取り組みに対し、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 1、名称 専門部運営負担金
- 2、徴収目的 インターハイの安定開催及び専門部運営費補助
- 3、対象 各都道府県におけるインターハイ予選 学校対抗団体戦出場校(男女別)  
1部2部での実施等や大会名を変えて団体戦を実施している場合でも、インターハイ予選に出場したとみなします。漏れの無いようお願いいたします。
- 4、徴収金額 1チーム 1,000円
- 5、徴収金額総額の見込み額 500万円
- 6、徴収方法 各都道府県申込みまたは大会開催日に各都道府県専門部で徴収 → 各都道府県専門部から一括で全国専門部指定口座入金
- 7、徴収金の使途  
インターハイ補助 300万円 (旅費補助280万円、大会補助20万円)  
専門部運営費補助 200万円 (常任委員会費(2月)130万円)  
(次期インターハイ開催地会場視察費20万円)  
(小委員会旅費50万円)
- 8、入金先  
お振込先は専門委員長に別途連絡しますので、6月30日までに都道府県ごと一括でのご入金をお願いいたします。また、お振込みは都道府県名で行い、分担金とは別にお振り込みをお願いいたします。
- 9、連絡先

長野県諏訪郡下諏訪町 7401 長野県下諏訪向陽高校  
新井 研二 Tel.0266-28-7594

令和8年4月2日

各都道府県高等学校体育連盟  
バドミントン専門部 様

公益財団法人全国高等学校体育連盟  
バドミントン専門部  
部長 菊地 亨

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部運営負担金の徴収について

日頃より、本専門部の活動に対しまして、ご支援ご協力を賜りありがとうございます。

(公財)全国高等学校体育連盟バドミントン専門部ではインターハイ開催費補助及び専門部運営費補助の目的で専門部運営負担金の徴収をお願いしております。各都道府県専門部におかれましては、下記の要領で徴収をお願いいたします。

インターハイ開催及び専門部運営には収入源が乏しい中ではありますが多額の経費がかかります。インターハイ開催経費確保や開催地負担の軽減問題及び専門部運営については、運営のスリム化とともに今後も継続して取り組んでいかなければならない問題です。専門部運営負担金については関係者に対してさらなる趣旨説明と適切な運用をしております。今後とも本連盟の取り組みに対し、ご理解とご協力をお願いいたします。

記

- 1、名称 専門部運営負担金
- 2、徴収目的 インターハイの安定開催及び専門部運営費補助
- 3、対象 各都道府県におけるインターハイ予選 学校対抗団体戦出場校(男女別)  
1部2部での実施等や大会名を変えて団体戦を実施している場合でも、インターハイ予選に出場したとみなします。漏れの無いようお願いいたします
- 4、徴収金額 1チーム 1,000円
- 5、徴収金額総額の見込み額 500万円
- 6、徴収方法 各都道府県申込みまたは大会開催日に各都道府県専門部で徴収 → 各都道府県専門部から一括で全国専門部指定口座入金
- 7、徴収金の使途  
インターハイ補助 300万円 (旅費補助 280万円、大会補助 20万円)  
専門部運営費補助 200万円 (常任委員会費(2月) 130万円)  
(次期インターハイ開催地会場視察費 20万円)  
(小委員会旅費 50万円)
- 8、入金先  
お振込先は専門委員長に別途連絡しますので、6月30日までに都道府県ごと一括でのご入金をお願いいたします。また、お振込みは都道府県名で行い、分担金とは別にお振り込みをお願いいたします。
- 9、連絡先

長野県諏訪郡下諏訪町 7401 長野県下諏訪向陽高校  
新井 研二 Tel.0266-28-7594

事故防止  
確認シート(改訂版)

専ら部 (バドミントン) 大会名: 県高校総体バドミントン競技

令和8年4月25,26日(土 日)曜日 記入者: 福井 啓仁

会場: 日環アリーナ栃木

項目	時期	担当者	時間や状況、タイミングなど	具体的な内容	実施 ☑	危機管理 マニュアル 参照ページ
○気象条件の事前確認 落雷・雷巻・雷脚・大気汚染・豪雨・ 降雪・雹・高温多湿・地震・火災など	前日まで	専門部委員長	中止や順延などの決定時間	・インターネット等で気象状況を確認して判断する。 ・インターネット等で気象状況を確認。継続や中断、延期などを判断する。		5~14
	当日	専門部委員長 各会場運営係	朝、随時			
○会場や設備、用具などの 事前点検	前日まで	専門部委員長 各会場顧問 施設管理者など	随時	・危機管理マニュアルの安全確認チェックリストを使用して、危険な箇所の有無を確認する。発見した場合には修復や部品交換、会場の変更や延期等を専門部委員長と協議する。		31~32 各競技の チェックリスト
	当日	各会場会場係	開始前、随時			
○参加生徒の健康観察 急病者・負傷者発生時の対応	前日まで	①専門部委員長や 各会場運営係	大会前日など	・ケガや体調不良などを確認する。 ・朝、昼の摂食有無・睡眠・体調不良、騒音などの確認を依頼。 ・発注時、業者に対して納品時間や保冷措置等について確認する。 ・保冷措置や食材、調理方法などについて指導する。また、折に触れて保護者にも周知する。 ・配付後は速やかに食べることや、時間の経過したものは食べないことなどを指導する。		15
	当日	②各校顧問や指導者	朝、随時			
○食中毒予防	前日まで	①専門部委員長や 各会場運営係	外注の場合 弁当持参の場合 大会前日など	・保冷措置や保管場所の確認すること依頼。 ・配付後は速やかに食べることや、時間の経過したものは食べないことへの指導を依頼。 ・保冷措置や保管場所の確認を依頼。		16
	当日	②各校顧問や指導者	外注の場合 弁当持参の場合			
○熱中症予防	前日まで	①専門部委員長や 各会場運営係	大会前日など	・前日の睡眠や当日の朝食、水分補給の重要性を指導する。 ・WBGT計を使用し、状況を把握する。 ・中断や水分補給を行わせるなどの措置をとる。 ・朝、昼の摂食有無・睡眠・体調不良などの確認を依頼。		16~18
	当日	②各校顧問や指導者	朝、昼、随時 (試合開始前・ハーフタイム等)			
○感染症(インフルエンザ・感染性胃腸炎等)	前日まで	①専門部委員長や 各会場運営係	大会前日など	・十分な睡眠とバランスのよい食事を心がけ免疫力を高めておくなどの重要性を指導する。 ・手洗いうがい、の励行やマスクの着用を促すとともに、各競技会場で消毒剤を配置し、室内であれば会場の換気などを依頼。 ・競技場内等に不審者が侵入した際の安全確保の対応について、参加者に周知しておく。		20
	当日	②各校顧問や指導者	朝、昼、随時			
○不審者侵入時の対応	前日まで	①専門部委員長や 各会場運営係	大会前日など	・不審者かどうか疑わしい場合や問題発生時の対応 ・確認や声かけ ・立ち入り制限や隔離処置等 ・警察への通報、保護者への連絡説明 ・参加者の安全確保、避難誘導 ・県高体連事務局へ緊急対応報告書の提出。(専門部より)		21
	当日	②各校顧問や指導者	朝、昼、随時			
○Jアラート発令時の対応	前日まで	①専門部委員長や 各会場運営係	大会前日など	・移動中は自宅待機。情報収集し、大会実施判断。 ・原則として、活動を中断し、観客等も含め避難等の指示。 ・速やかな避難行動 ・正確かつ迅速な情報収集		21~22
	当日	②各校顧問や指導者	朝、昼、随時			

令 8 全国高体連第 5 号  
令和 8 年 4 月 1 日

都道府県高等学校体育連盟 会長 殿  
同 上 理事長 殿  
(公財) 全国高体連競技専門部 部長 殿  
同 上 委員長 殿

(公財) 全国高等学校体育連盟  
専務理事 奈良 隆

体罰根絶に向けた取り組みの強化について (依頼)

日頃より本連盟の諸事業及び高等学校における運動部活動の充実・発展にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

さて、運動部活動における体罰根絶に向けた取り組みについては、平成 26 年 5 月に「体罰根絶全国共通ルールの制定について (通知)」を発出し、これまで「体罰根絶全国共通ルール」のもと、様々な取り組みを行ってきました。また、加盟校をはじめ、都道府県高体連、競技専門部及び全国高体連の関係する全組織が一丸となって、体罰等の許されない指導の根絶に向け取り組みを進めてきました。

しかし、全国高体連の諸会議等で報告のとおり、「体罰根絶全国共通ルール」の施行以降も適用件数については根絶には至っておらず、令和 7 年度は、令和 6 年度の 45 件から減少したものの 26 件発生しています。

言うまでもなく、教育活動の一環として行われる各学校の部活動及びその学習成果の発表の機会である競技大会は、次代を担う高校生の健全育成を目的として実施されています。したがって、競技中はもちろんのこと日常の指導の過程等において体罰や暴言等の不適切な行為があってはなりません。

全ての高体連関係者は、この最も基本的な考え方に基づく認識を今一度新たにした上で、今後の指導に取り組む必要があります。

つきましては、既出の通知や資料等に基づき、管下の加盟校の校長及び全ての指導者に対し、「体罰根絶全国共通ルール」及び『「体罰根絶全国共通ルール」に関する Q & A』を周知徹底していただくとともに、体罰根絶に向けた取り組みの強化をお願いいたします。

なお、「全国共通ルール」をはじめ体罰根絶に向けた取り組みについては、本連盟ホームページに資料を掲載しておりますのでご参照ください。

< 問合せ先 >

(公財) 全国高等学校体育連盟  
事務局次長 高田佳朗  
TEL : 03-6268-0027  
FAX : 03-6268-0028

令和8年3月

【経緯】

4月下旬のBWF総会にてルール改正による得点変更（21点から15点）の是非が決定される。また、日バより①4月下旬導入、②8月下旬導入のパターンでの対応をあらかじめ検討するよう指示がなされた。全校高体連専門部は現在対応について協議中だが、改正が決定した場合、採用はア：全国高校総体、イ：全国選抜大会からのいずれかである。また、協会主催の1種大会においては、別紙文書の通り検討されている。

【対応】

このことについて、県専門部として下記のように対応したい。

①4月下旬導入 ※全国高校総体15点制決定の場合

- ・4月 県総体：現行のルール 21点制 ※決定前のため
- ・6月 全国総体予選：15点制
- ・8月 学年別大会：15点制
- ・11月 新人大会：15点制
- ・ 各支部大会：決定後は15点制で実施。決定前については支部判断とする。

②8月下旬導入 ※全国選抜大会15点制決定の場合

- ・4月 県総体：現行のルール 21点制 ※決定前のため
- ・6月 全国総体予選：現行のルール 21点制
- ・8月 学年別大会：15点制
- ・11月 新人大会：15点制
- ・ 各支部大会：8月以降は15点制で実施。決定前については支部判断とする。

★協会主催の大会については、協会の判断による。

★否決の場合は今年度同様とする。

★ルール変更が決定した場合、令和8年度IH予選の運営結果を参考にシャトル代・参加枠について検討を進める。

【その他】

- ・合成シャトルの大会使用について

現在2社の合成シャトルが検定球として認定されている。現在、ヨネックス社検定球が全日中での使用を決定している。ただ、あくまで試行段階であり、メーカーも量産体制にない。そのため、大会球での使用は一切見込まれていない。現段階では一般向けの販売もされていない。

今後の動向を見て、本県での大会使用を検討していく予定とする。

栃木県高体連バドミントン専門部  
委員長 千坂 篤史

令和8年4月1日

#### 19歳以上の生徒の大会出場について

高体連主催の参加資格（準ずる協会主催の大会も含む）

1) 令和〇年4月2日現在19歳未満であること。

但し、同一学年での出場は一回限りとし、全日制・定時制の混合は認めない。

#### 県高体連事務局の回答

- ・高体連主催の3大会は不可
- ・ただし、支部大会や協会主催の大会は専門部や協会の判断に委ねている。

#### 専門部としての回答

- ・県総体、インターハイ予選、新人大会は出場不可
- ・学年別大会も新人大会につながるため出場不可
- ・支部大会については条件付きで出場を認める。

【条件】団体戦、及び、インターハイ予選の別枠出場の権利がかからない個人戦とする。

#### その他

- ・顧問を中心に、地域が開催しているオープン大会等への案内を促すことで、活躍の機会を設定する。

栃木県高体連バドミントン専門部  
委員長 千坂篤史

## 令和8年度バドミントン専門部顧問連絡先について

下記、QRコードにて情報共有をお願いいたします。

※個人情報については、本専門部活動においてのみ活用します。

- ・年度途中における運営関係の連絡
- ・大会の連絡

等に使用します。

ご協力をお願いいたします。



<https://forms.gle/kjWE2KdGXXWQBGQ8>

栃木県高体連バドミントン専門部  
委員長 千坂 篤史

栃木県高体連バドミントン専門部公式X



**@tochikobad**